



Arimatsu



Nishiki-2

# 地域まちづくりサミット2024

～愛知のまちづくりの現状と課題～

参加者募集

まちづくり活動報告・パネルディスカッション

2024年2月18日(日) 13時～17時 受付12時30分

愛知建築士会まちづくり委員会・地域まちづくり部会は、今年度より新たな取り組みとして、地域で活動する「まちづくり団体」の取り組みを紹介し、相互に情報交換し連携する仕組みとして「地域まちづくりサミット」を開催してまいります。今年度は、4団体が、活動発表を行い、パネルディスカッションで課題を深掘り致します。

## スケジュール

13:00 主旨説明、ガイダンス (司会：葛山 稔晃)

13:20 まちづくり活動報告 (90分)

- 1) 有松 (インバウンド観光の取り組み)
- 2) 錦2丁目 (エリアマネジメント)
- 3) 豊橋 (リノベーションまちづくり)
- 4) 幅下 (古民家活用・おかし寄席)

14:50 休憩 (10分)

15:00 パネルディスカッション (80分)

テーマ：地域と共に歩むまちづくり

コーディネーター／(敬称略)

三矢 勝司 (名古屋学院大学 准教授)

パネリスト／(敬称略)

中村 淑子 (NPO 法人コンソーシアム有松・理事長)

藤森 幹人 (錦2丁目まちづくり協議会・理事)

黒野 有一郎 (大豊協同組合・代表理事)

佐藤 博司 (幅下まちあそびの会・事務局長)

脇田 泰史 (愛知建築士会・理事)

16:20 コーディネーターまとめ (30分)

質疑応答 (10分)

17:00 終了

会場：愛知建築士会 会議室 (商工会議所ビル9階)  
(休日の為、商工会議所通用口よりお入り下さい)

定員：60名 (先着順)

参加費：会員 800円、ゴールド会員・専攻建築士 700円  
一般 1,000円、学生 500円

申込み：メール [eibenom152r@green.email.ne.jp](mailto:eibenom152r@green.email.ne.jp) (佐藤)  
FAX 0568-23-2421 (裏面の申込用紙をご利用下さい)

締切り：2024年2月9日(金)

問合せ：愛知建築士会 地域まちづくり部会 佐藤(同上)

CPD：4単位



三矢 勝司氏

## コーディネーター・プロフィール

三矢 勝司

(名古屋学院大学現代社会学部 准教授)

岡崎市出身。千葉大学大学院にて参加型まちづくりやコミュニティを育む住まいづくりを学ぶ。建築事務所勤務(東京)等を経て、2006年にNPO岡崎まち育てセンター・りたを設立(国土交通大臣賞を受賞)。まちづくりコーディネーターとして、魅力的な場所・コミュニティづくりを実践。専門は、都市 commons、参加のデザイン、まちづくり支援論。博士(工学)。2023年4月より現職。

## 主催

公益社団法人 愛知建築士会 まちづくり委員会 地域まちづくり部会

事務局／

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目10-19 名古屋商工会議所ビル9F  
TEL 052-201-2201



Toyohashi



Habashita

# まちづくり団体 活動報告

## 1. 特定非営利活動法人コンソーシアム有松



理事長  
中村 淑子

有松絞りの本格的な拠点「絞りミュージアム」の開館を目指す団体です。貴重な有松絞りの着物や、資料が閲覧できる多目的施設で、有松絞りの真髄を伝えるのが目的です。

2023年度は、観光庁のインバウンド助成事業「観光再始動」で「有松のおもてなし」が採択されました。内容は、竹田嘉兵衛商店で絞りの着物を選び、着付・メイク。茶室「栽松庵」で本格的な茶会を体験、ガイド・通訳付きで有松のまちなみを散策、着替え後、応接間で夕食のおもてなしをセットにした観光コンテンツです。他にも文化庁の「親子で絞り体験教室」など、官民一体となって「絞りの町・有松」を積極的に取り組んでおります。

## 2. 錦二丁目まちづくり協議会



理事  
藤森 幹人

名古屋城下町に“清州越し”で誕生したこの地区は、戦後の高度成長期に「長者町織維問屋街」が急速に発展し、その後衰退します。2000年の長者町織維協同組合 50周年事業をきっかけに「えびす祭り」「えびすビル」等まちづくり事業を始め、そして2004年に織維問屋だけでなく様々な主体が参画する「錦二丁目まちづくり協議会」が発足しました。協議会は「これからの錦二丁目まちづくり構想(2011-2030)」を策定し、「あいちトリエンナーレ」開催支援、「名古屋市低炭素モデル地区」認定などを経て、2018年に組合や町内会と一緒に「錦二丁目エリアマネジメント株式会社」を設立します。現在はこのエリアマネ会社を中心に自立・持続する新たな地域まちづくり活動を展開しています。

## 3. 大豊協同組合（大豊商店街）



代表理事  
黒野 有一郎

豊橋まちなかの水上ビル・大豊商店街は、戦後の闇市に端を発し、昭和の復興期からまちなかで商店街を形成し、用水路上に移動して、来年還暦・60周年を迎えます。この10年ほどは、地域や商店街に注目が集まり、一時の衰退期から様々な活動によって、空き店舗がほぼゼロになり、活気が戻って来ています。近年では、隣接する再開発事業による「まちなか広場」や「まちなか図書館」と地元商店街との対比や連携が新たに話題となっています。

また、水上ビルのみならず、豊橋市では独自の「リノベーションまちづくり」事業により、行政や商店街、大学生などが集まって、まちなかの空き店舗の利活用について考え、提案を行う活動が継続されています。初期の対象プロジェクトは、そろそろ実施に入る段階にきています。

## 4. 幅下まちあそびの会



事務局長  
佐藤 博司

江戸時代、美濃路に沿って多くの商家・町屋がたち並び、近代には菓子・扇子製造などの名古屋の地場産業の中心地でもあった名古屋市西区幅下地区。一部は戦災による消失を免れ、今でも美濃路に沿ってかろうじて街道の趣を残しています。町屋や菓子問屋関係の歴史ある建物が点在する住宅・商業地区ですが、都心に近く交通至便なため急速に建て替えや再開発が進んでおり、このままでは歴史的な街道の趣や情緒ある建物(まちなかの景観)が消失してしまう瀬戸際に立たされています。この現状を憂い、これら歴史的な建物を壊すのではなく活用しながら歴史を生かしたまちづくりを目指し、研究・活動をしている団体です。

「おかし寄席」「琴の演奏会」「茶会」など、古民家を会場に開催する催事が、人気を博しています。

## 地域まちづくりサミット2024「参加申込書」

FAX用

地域まちづくりサミット2024 に参加を申し込みます。

令和 年 月 日

住所	〒		所属 (○を付けてください)	会員 ゴールド会員 専攻建築士 一般・学生
TEL	( )	-	FAX	( ) -
mail		@		
ふりがな			勤務先 (又は学校名)	
氏名			役職	
同伴者 氏名			通信欄	◆下記の意向がある方はチェックをお願いします。 今後も連絡を差し上げます。 <input type="checkbox"/> まちづくりに関心がある。 <input type="checkbox"/> できれば今後も継続してかわりたい。

申込締切 / 2024年2月9日(金)

お申し込みは (佐藤まで) FAX 0568-23-2421